

宮田南小学校通信

11日の給食に、みかんシャーベットがありました。そこに、ドライアイスがついてきました。

それを知った私は、「実験がしたい!」「子どもたちに実験をさせたい!」という感情が押さえきれずに、職員に迷惑をかけながら、実験することにしました。当初は、理科室での実験を考えていましたが、この日は縦割り遊びの日ということもあって、それを邪魔してはいけないと、急遽、体育館に場所を移し、実験を行いました。体育館での準備に当たり、理科室から実験道具を快く運んでくれた6年生、ありがとうございます。



実験1 ドライアイスに金属のスプーンを置くと、何が起こるかな?



◎ スプーンがふるえてジーンといいます。

子どもの声(○)

- 音がするよ。何で?
- シーンってなるね。
- あれ! ならなくなっちゃったよ。
- スプーンをふいたら、またなり出すよ。

○ あっ ほんとだあ。またなり出した。

ここで、感心することがありました。6年生と一緒に連れてきた下級生に、自分を後回しにして、先に実験をさせるんです。すごいです。立派な6年生です。

実験2 ドライアイスを入れた水槽にシャボン玉をつくって入れるとどうなるかな?



子どもの声(○)

- あっ、シャボン玉が浮いた。
- 何で? シャボン玉が浮くん。



◎ シャボン玉が水槽の中で、静止します。

実験3 ビーカーにドライアイスとエタノールを入れ、それにアジサイの花や葉をひたすとどうなるかな?



◎ アジサイの花と葉は凍って、パリパリになります。手で握ると、ガシャッと碎けます。☆ この理由は、ビーカーの中がマイナス78℃くらいになるから、花や葉が凍ってしまうからです。

子どもの声(○)

- うわー、冷たい?
- 手で握ってみて。
- 音がした。バラバラになった。うわーうわー、パリパリ。すごい。

このような状況でした。写真、右側は実験おばさんがハンドタオルを襟に引っかけ、みっともない光景ですが、多くの子どもたちに応えようと、汗だくでした。実験1・2の結果になる理由がわかった人(児童)は、私にその理由を伝えるに来てください。正解者にはシールを渡します。